

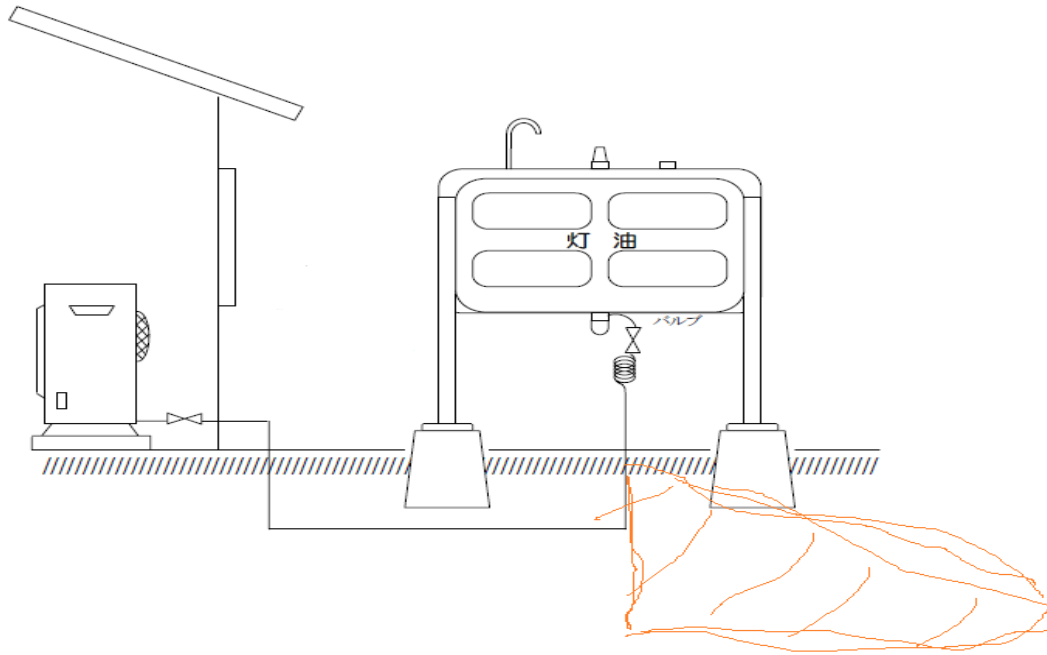
地中漏油処理方法について ウォーターサーージングの ご提案

東神電材株式会社

ホームタンクの漏油事例

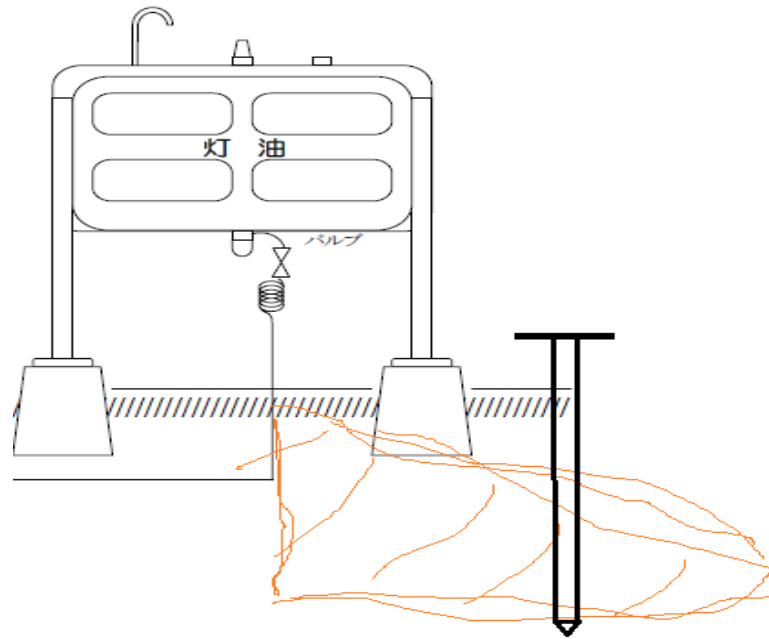


1. 漏油箇所の確認



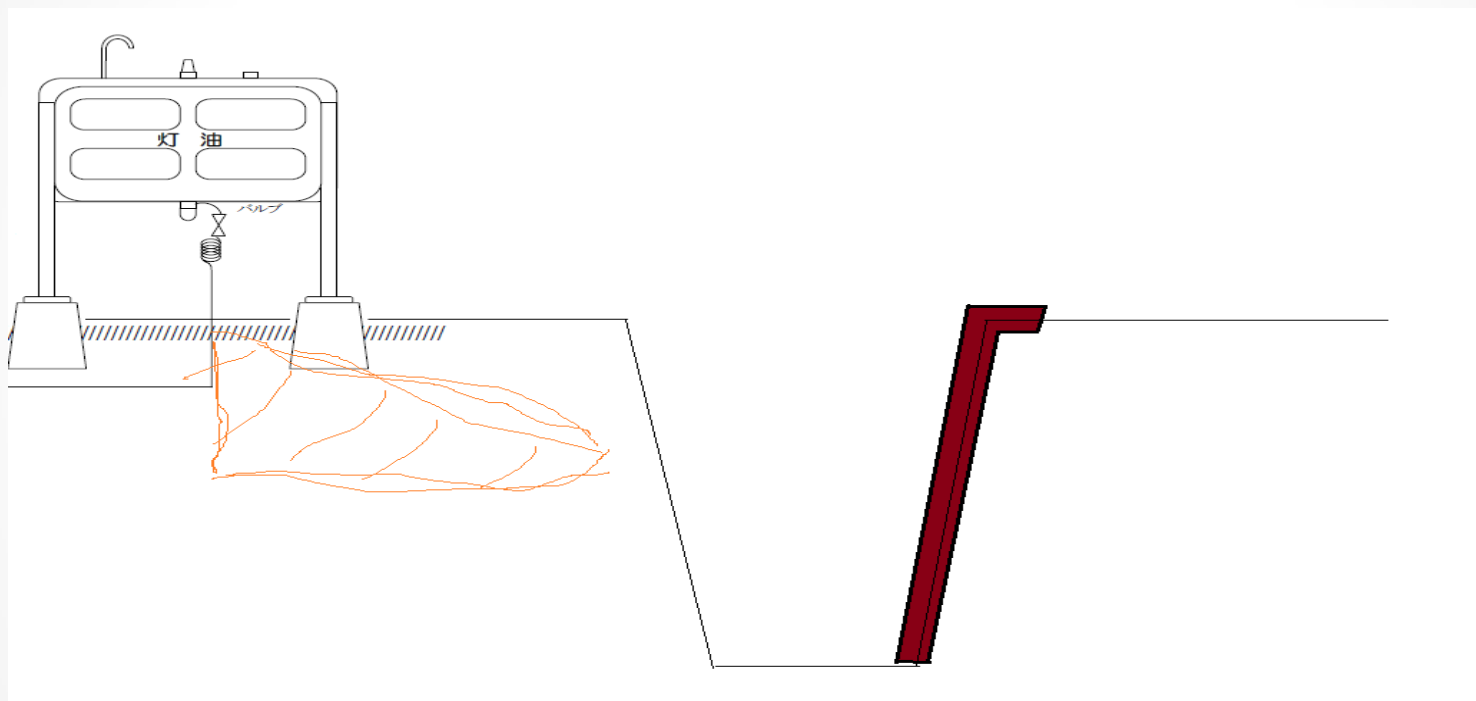
ホームタンクでの漏油は主に配管の腐食や接触によるものが多い。
灯油臭いと感じた場合には既に大量に漏れている事がある。

2. 地中漏油深度の確認



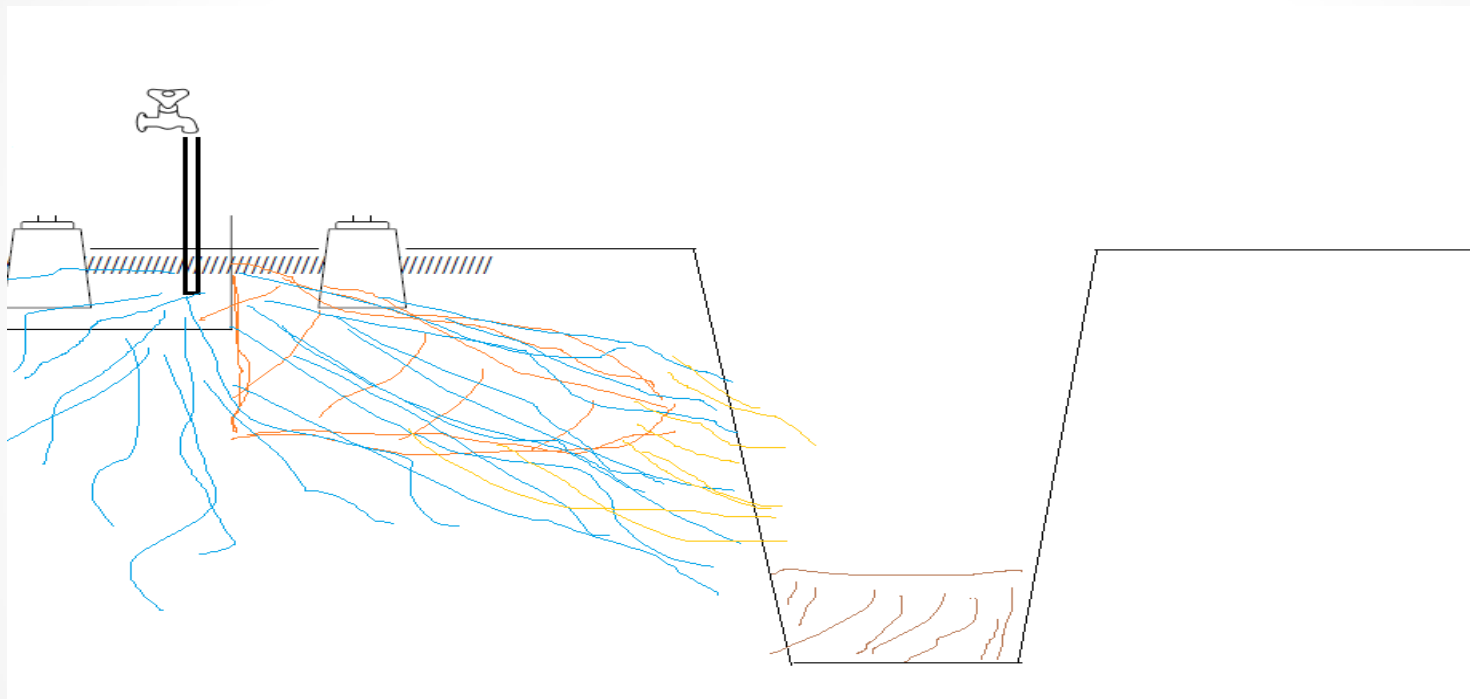
漏油探査棒で地面を掘り進め、ある程度の深さで抜き取る。
土に染み込んだ灯油は見た目では判断できないので、試薬の着色で判別をする。

3. ウォータースパージング 準備



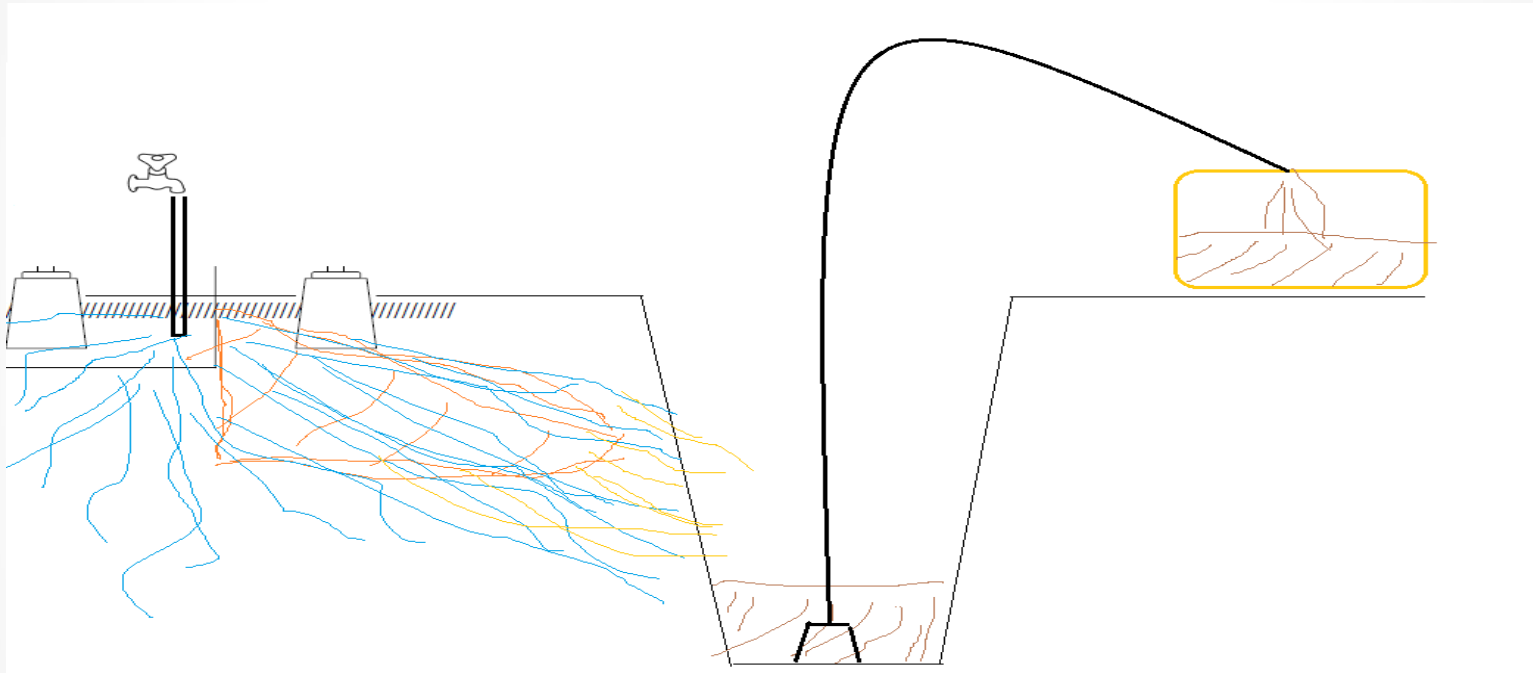
漏油探査で判明した深度に対して倍の深さの穴を漏油箇所付近に掘る。
土壌汚染を拡散させない為コンパネ等で囲む。

4. ウォータースパージング 施工



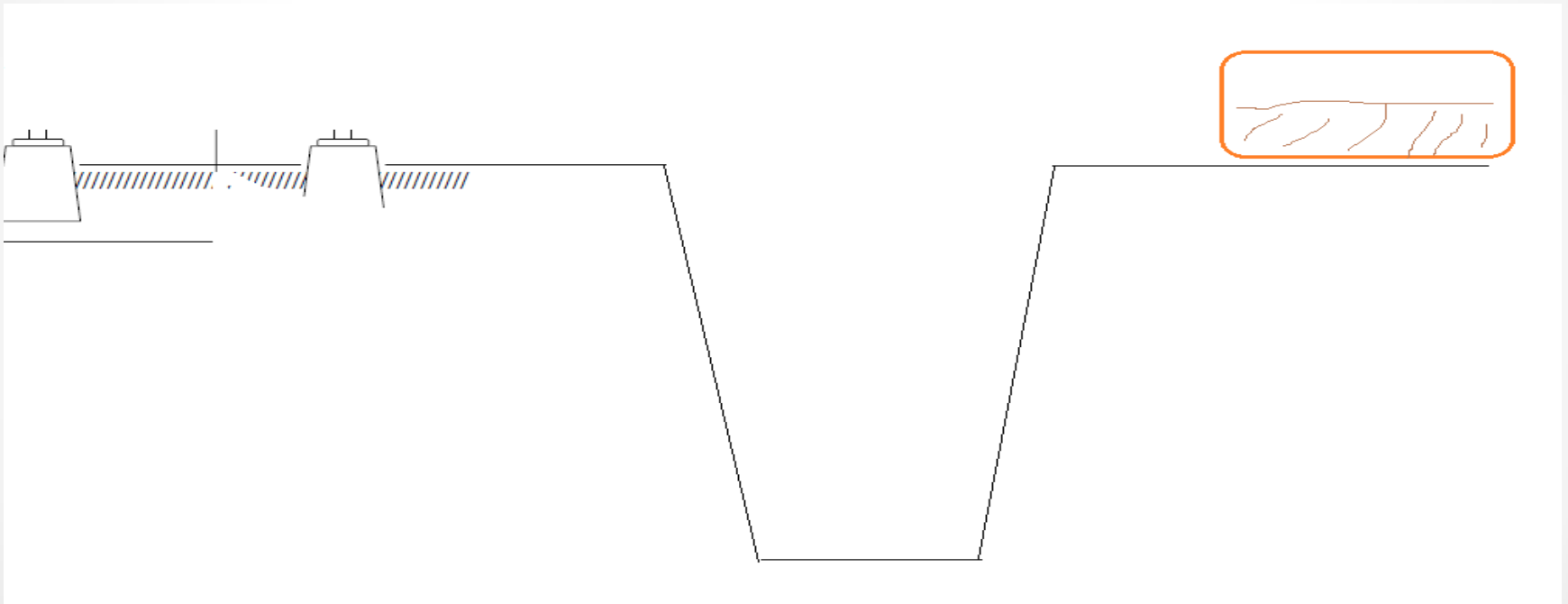
漏油箇所の上に穴を開け、そこに水を流し込む。
水は四方に広がるが、漏油箇所を通ったものは汚泥として掘った穴に貯まる。
穴の場所や深さを数日ごとに変える事により、浄化をより確実にする。

5. 汚泥の回収



穴に排水ポンプを入れてタンクに汚泥を汲み上げる。

6. 汚泥回収完了



地中から油が無くなるまで作業を繰り返し行う。

7. 凝集作業



タンクに凝集剤を入れ、攪拌機で攪拌を行う。
凝集作業により排水基準までノルマルヘキサン値が下げる処理をする。
濾過後の水を土壌洗浄で再利用する事で水の使用量を減らすことが出来る。
ご不明な点は当社までご連絡下さい。